

INFORMATION

No. 1009-17

新規受託のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、下記の項目につきまして、新規受託を開始させていただくことになりましたので、ご案内申し上げます。

敬具

記

検査要項

コード	検査項目名	採取容器	検体量	検体の保存方法	検査方法	基準値単位	所要日数	検査実施料(判断料)
3601	特異的IgE・ ω -5グリアジン	A	血清 0.5ml	冷蔵	FEIA法	0.34以下 U _A /ml	3~5日	110点 (144点)
3604	特異的IgE・カシューナッツ	A	血清 0.5ml	冷蔵	FEIA法	0.34以下 U _A /ml	3~5日	110点 (144点)
3607	特異的IgE・マラセチア(属)	A	血清 0.5ml	冷蔵	FEIA法	0.34以下 U _A /ml	3~5日	110点 (144点)

受託開始期日

平成22年 10月 4日(月) より受託開始

* お問い合わせは当社または担当者までお願いいたします。

株式会社 武蔵臨床検査所

〒358-0013 埼玉県入間市上藤沢309-8

TEL 04-2964-2621 FAX 04-2964-6659

URL <http://www.e-musashi.co.jp>

新規受託検査項目 特異的IgE

◆ ω-5グリアジン

ω-5グリアジンは小麦の不溶性成分の一つです。

ω-5グリアジン特異的IgEは小麦アレルギー群においては84%が陽性を示し、非小麦アレルギー群での陽性率は27%にとどまったと報告されています(臨床的感度84%、臨床的特異度73%)。

また、原因食品摂取後の運動によって惹起される食物依存性運動誘発性アナフィラキシー(FDEIA)の一つであるWDEIA(小麦依存性運動誘発性アナフィラキシー)では、臨床的感度および臨床的特異度はそれぞれ80%、68%であり、WDEIAの診断における既存の小麦(食物)およびグルテンの検査結果を大きく改善することが報告されています。

それらの結果から、ω-5グリアジン特異的IgEの測定は、小麦(食物)に対する特異的IgE測定と併用することで、小麦アレルギーの診断精度を向上すると期待されます。

◆ カシューナッツ

カシューナッツは、炒って食用にする他、中華料理、パン、お菓子(ケーキ、クッキー、チョコレート等)、サラダのトッピング等に使用されています。

カシューナッツによるアレルギー症状は、舌のしびれ、喉の違和感、嘔吐等の口腔アレルギー症候群のみならず、アナフィラキシーショック等の重篤な反応を示すことが知られています。

既存の特異的IgEのナッツ類(クルミ、ハシバミ(ヘーゼルナッツ)、アーモンド等)とともに、より幅広くナッツ類によるアレルギー患者の原因検索が可能になります。

◆ マラセチア(属)

抗原性(IgE抗体反応性)の異なる*Malassezia sympodialis*、*M. restricta*、*M. globosa*の3種マラセチア属の抽出液を混合したものを抗原として固相化したものです。

ヒトおよび動物の皮膚常在菌(成人の80%が保有)でありアトピー性皮膚炎との関連が報告されています。